



# Trust



令和6年3月4日 NO.14

## 第4回定期考査を終えて

第4回定期考査が終了しました。1年生最後の定期考査となりましたが、結果はどうでしたか？テストは受けるだけで終わりではありません。自分の弱点を把握し、復習することが大切です。以下の反省を生かして、来年度に向けての準備を進めましょう。

## 各教科からのコメント

教科	コメント・アドバイス
【地理総合】	学年平均点は 55.6 点でした。今回は出題範囲が広がったので、少々大変だったと思います。教科書を読んでワークをやっておくだけでできる問題が、特に記述問題で何問もあったので、それができなかった人は復習しておきましょう。大学受験で地理を使う人は特にしっかりやっておいてください。
【化学基礎】	今回は前回より難易度が低い範囲であったため大幅に平均点が上がる結果となりました。今回のテストでは中和滴定と酸化還元でいかに点数を取ることができたかだと思います。中和滴定では出るといわれた問題に取り組めたか、比較的難易度が低い酸化還元を完璧にしていたかといった適切に勉強する場所を選んでいた人は高得点をとれたのではないかと思います。来年度の化学は大幅に難易度が上がりますが理系のみなさん頑張ってください！
【英語コミュⅠ】	平均点は 52.83 点でした。大学入試では日本語訳の問題はあまり出題されませんが、定期考査では必ずある理由、わかりますか？学習したことを確認するのに「一番シロクろつけられるから」です。何となくこの意味かなあ、それらしい日本語にできたかなあ、では、英語の文法、単語や熟語の意味使えるようにならないのです。SVOCM の基本に従い、英文を理解する努力をして下さい。
【歴史総合】	今回の考査はよく出来ていたと思います。語句を答える問題に関しては、要点ノート・研究ノートを中心に出了したので、しっかり勉強して覚えていた人は概ね高得点でした。 一方、差がついたのは誤文選択・記述問題です。初見の資料に対して、既習事項をどのように結びつけて考えられるかが大事です。そのためには、単なる意味・語句の暗記だけではなく、その言葉の概念を理解しなければなりません。気になった語句・よく出てくる語句に関しては特に、一度調べてみると新たな発見があると思います。
【現代の国語】	平均点は 63.65 点でした。このぐらいになると良いな、と作った問題の内容と構成ですので、まずまず、良いかと思います。大問一が得点率 8 割ほど、大問二・三が合わせて得点率 7 割五分ほど、そして、大問四の初見文章が得点率 4 割ほどとなりました。しっかり勉強すれば得点できる範囲と、授業で習った範囲の得点率が高かったのは喜ばしいことです。初見文章はすべてマーク式での出題でしたが、マーク式だからといって点数が取れるわけではないことがわかってもらえたかと思います。1 年生には少し難しい内容と語彙の文章でしたが、テーマはすでに学習しているものとはほぼ変わらないものでしたので、ここに時間をかけてじっくり考えて解ききってほしかったところです。上を目指したい人におススメなのが、入試休みの間に、この大問四の解きなおしをすること。ぜひ、時間をかけて、わからない語句と向き合いながらチャレンジしてみてください。報告お待ちしております。

【家庭基礎】	平均点は 61.9 点でした。出題範囲が広く、語句を問う問題がほとんどでしたが、正確に覚え解答している人が多かったです。学校で家庭科を勉強することは、ほとんどの人はもうありません。ですが、今後、公民や理科、保健など他の教科・科目で重なる内容を勉強することがあります。ぜひその時に家庭科の内容を思い出してください。また、生きていくこと・生活していくことは続きます。自立と共生ができる大人になり、人生を楽しんでください。その基礎は身につけているはずですよ。
【論理・表現Ⅰ】	平均点は 59.77 点、前回は挽回しました。よかったです。今後の学習のために、一つ述べたいと思います。ワークブックと同じ問題が出題されれば、できるのは当たり前です。出題方法が違う問題も解けるようになって下さい。少なくともリスニング以外は、新出の英文はありませんでした。暗記も大切な学習の一つですが、理解をして学習することを今後は意識してみましょう。文法の理解のためには、「暗記→理解」を経て、「問題演習」が必須であると思います。多くの人は、定期考査のための勉強を「問題演習＝暗記」で終わらせてしまっているのではないのでしょうか？問題演習で学ぶ一番大切なことは「気づき」です。さらに定着を図るためには、必要な学習をプラスして下さい。自分に合った学習方法を身につけ、実践してくださいね。
【数学 A】	平均点はおよそ 57 点。範囲が狭かったので、基本問題から応用問題まで幅広く出題しました。基本問題の中で特に「余事象」を扱う問題は復習してください。余事象の考え方はこの分野に限らず、様々な場面で活きます。 また、5 番は期待値と連立方程式の複合問題でした。2 年生になると、このように様々な分野の知識を用いる問題が増えてきます。問題を色々な角度から読み取れるよう、練習していきましょう。
【言語文化】	平均点は 61.85 点でした。今回は、「古文」「漢文」「小説」と、言語文化という科目においての全単元からの出題となり、取り組む内容が多い反面、まずは基礎的事項を問うことを優先したため深い内容や応用的な内容はそれほど問えませんでした。もしかしたら、あんなに勉強したのにその内容が出なかった、と残念に思う人もいたかもしれませんが、テストに向けて自分の頭で整理しながら復習した知識は、必ず皆さんに定着し、今後の学習に生きていきますので、そのまま学習を続けましょう。古文の文法問題(完全解答など)で点を落とした人は、しっかり復習して 2 年生を迎えるようにしてください。この先は、さらに多くの文法の知識が必要となるので、ここがわかっていないとより苦しくなりますよ……。
【情報Ⅰ】	情報は、試験前に予告した通り、事前に出題したフォームの問題集をどのくらい取り組んだかで結果が分かれました。平均点は 78.8 点で、かなり高い点数となりました。多くの人が努力した反面、努力が足りなかった人はかなり厳しい結果になったと思います。前回の考査と同様に、85 点未満の生徒についてはフォームをやり直す課題を出しました。来年の大学入試より国立大学は共通試験に情報Ⅰが加わります。来年は情報の授業はありません。今一度しっかり復習し、2 年後の共通試験に向けて少しでもできることに取り組んでおきましょう。
【数学Ⅰ】	今回の考査は良くできていました。データの分析は主に共通テストで出題される分野です。また数学 B の確率分布と統計的な推測につながります。特に、変量変換が理解できていないと数学 B で苦勞するので考査の出来不出来にかかわらず変量変換が理解できていない人は復習しておきましょう。

